

“食”に携わる全ての企業様のために ——

～ 日本中の食と食、企業と企業を結びつけ

フード業界の発展に貢献 ～

株式会社インフォーマート

2009年12月期

第1四半期決算説明資料



2009年4月30日

東証マザーズ(2492)

I. FOODS Info Mart 概要	・・・ P1
II. 2009年12月期 第1四半期決算	・・・ P7
III. 2009年12月期の計画	・・・ P17
IV. Infomart International の設立	・・・ P24
V. 補足資料	・・・ P29



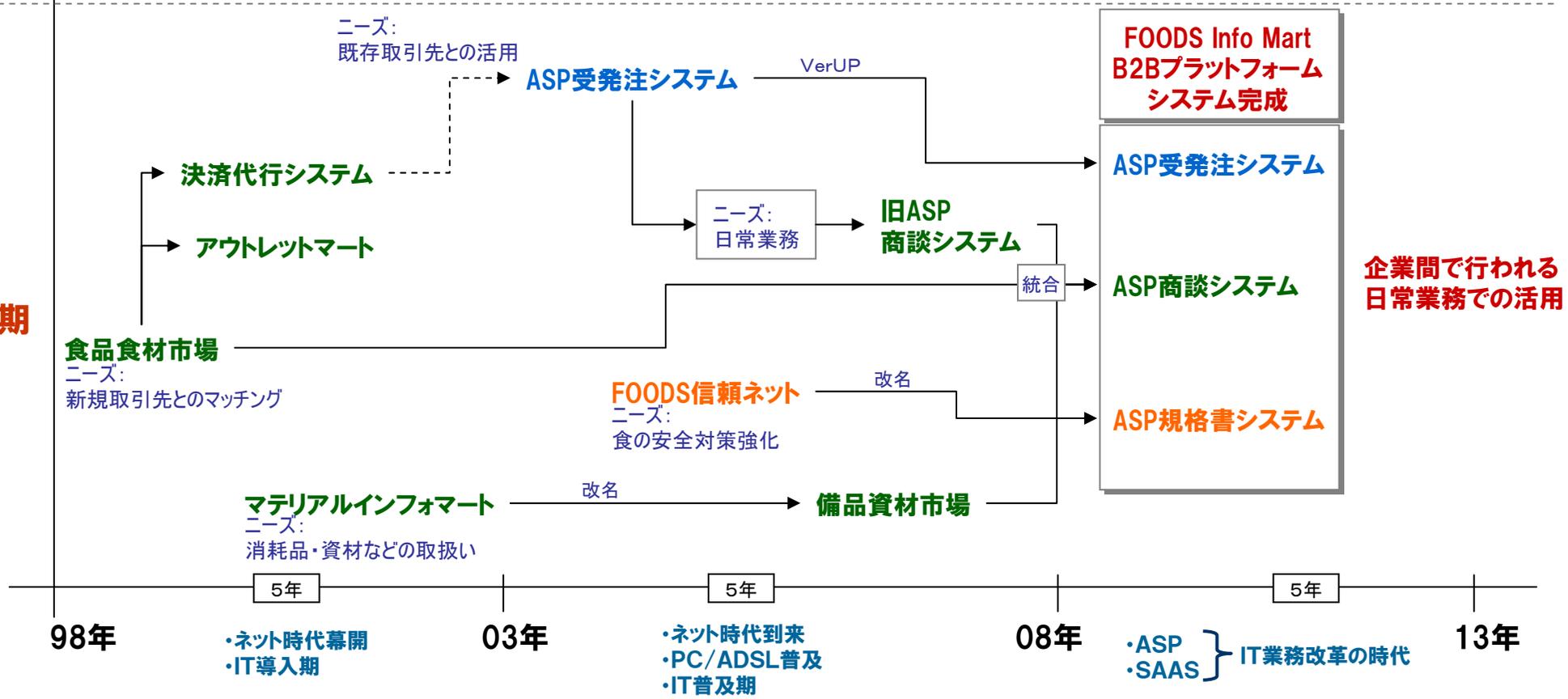
I . FOODS Info Mart 概要

安定期

成長期

草創期

～3システムが整ったFOODS Info Mart は
いよいよ成長期へと躍進いたします！～



企業間で行われる
日常業務での活用

買い手 利用企業

スーパー・小売、レストラン、ホテル・旅館、給食・惣菜、通信販売会社、食品メーカー、卸売業・商社 等

売り手 利用企業

食品製造、生産者、卸売業・商社、農協・漁協、特産品業者、仲卸 等

課題 !

既存取引先の取扱商品を把握したい
見積や提案の書式を統一したい
社内で商品情報や商談履歴を共有化したい
新規の取引先を開拓したい
.....

電話・FAXの受発注業務を改善したい
仕入状況・販売状況を把握したい
受発注をシステム化したい
.....

商品規格書を管理したい
食の安心・安全への対応をしたい
商品規格書のデータベース化をしたい
.....

FOODS Info Mart B2Bプラットフォーム

商談業務の
企業間グループウェア
ASP商談システム

日々の受発注業務の効率化
ASP受発注システム

安心と安全の仕組みづくり
ASP規格書システム

解決 !

売上拡大・購買強化

業務改善・コストダウン

Web受発注で業務効率化

業務改善・コストダウン

データベースで業務効率化

業務改善・コストダウン

買い手企業



社内グループウェア

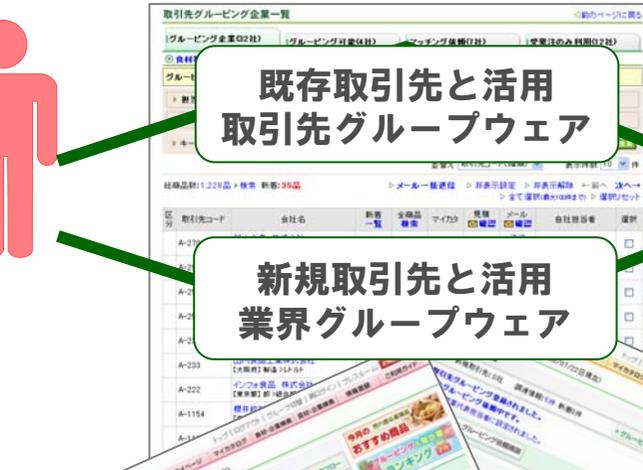
既存取引先と活用
取引先グループウェア

新規取引先と活用
業界グループウェア

売り手企業



社内グループウェア



提案募集

サンプル依頼

見積書

比較検討

購買に営業に

毎日使える豊富なツール

見積提出

取引履歴

商品案内

カタログ印刷

ダウンロード

予定表

取引年表

PDF



買い手企業



受発注～請求まで
既存取引先と活用



売り手企業

発注に受注に

毎日使える豊富なツール

マイページ
インフォ食品 株式会社様
業務のご案内
メール
取引先登録
取引先検索
取引先ダウンロード
プライベート調達
お知らせ

発注

検品・受領

買掛確定・支払通知

棚卸高

ダウンロード

仕入年表

請求書発行

納品書発行

商品別売上一覧

受注・発送

マスター登録・単価変更

買い手企業



取引商品の安全確認に
既存取引先と活用



売り手企業

規格書状況管理(買い手)

提出状況確認

提出状況確認画面のスクリーンショット。提出済みの規格書を確認するためのインターフェース。検索条件や提出状況のリスト表示が可能。

記入チェック内容

記入漏れチェック

記入漏れチェック画面のスクリーンショット。規格書の各項目が適切に記入されているかどうかを確認するためのチェックリスト。

取得・承認

取得・承認画面のスクリーンショット。規格書の取得と承認プロセスを管理するためのインターフェース。

各種検索

規格書検索画面のスクリーンショット。商品名や規格番号などに基づいて規格書を検索するための機能。

規格書確認

規格書確認画面のスクリーンショット。規格書の詳細を確認するためのインターフェース。

データダウンロード

商品名	部	乳	小	モ
1. イチゴジャム				
2. マンゴープリン				
3. 保存豆腐				
4. 餅のまこ				
5. 冷凍ちま子				
6. 冷凍うどん				
7. 焼くがな				
8. きのこの乗物				
9. きんぴらごぼう				
10. ケーキ				

取得に提供に

毎日使える豊富なツール

中央の大きなテキストボックス。システムが提供する豊富なツールと機能の紹介。

**取引商品の安全確認に
既存取引先と活用**

取引商品の安全確認に関する詳細な画面のスクリーンショット。既存の取引先と連携して安全確認を行うための機能。

規格書登録

規格書登録画面のスクリーンショット。新しい規格書を登録するためのインターフェース。

未記入チェック

未記入チェック画面のスクリーンショット。規格書の未記入項目を確認するための機能。

提出

提出画面のスクリーンショット。規格書を提出するためのインターフェース。

規格書出力

規格書出力画面のスクリーンショット。規格書を印刷するための機能。

仕様変更通知

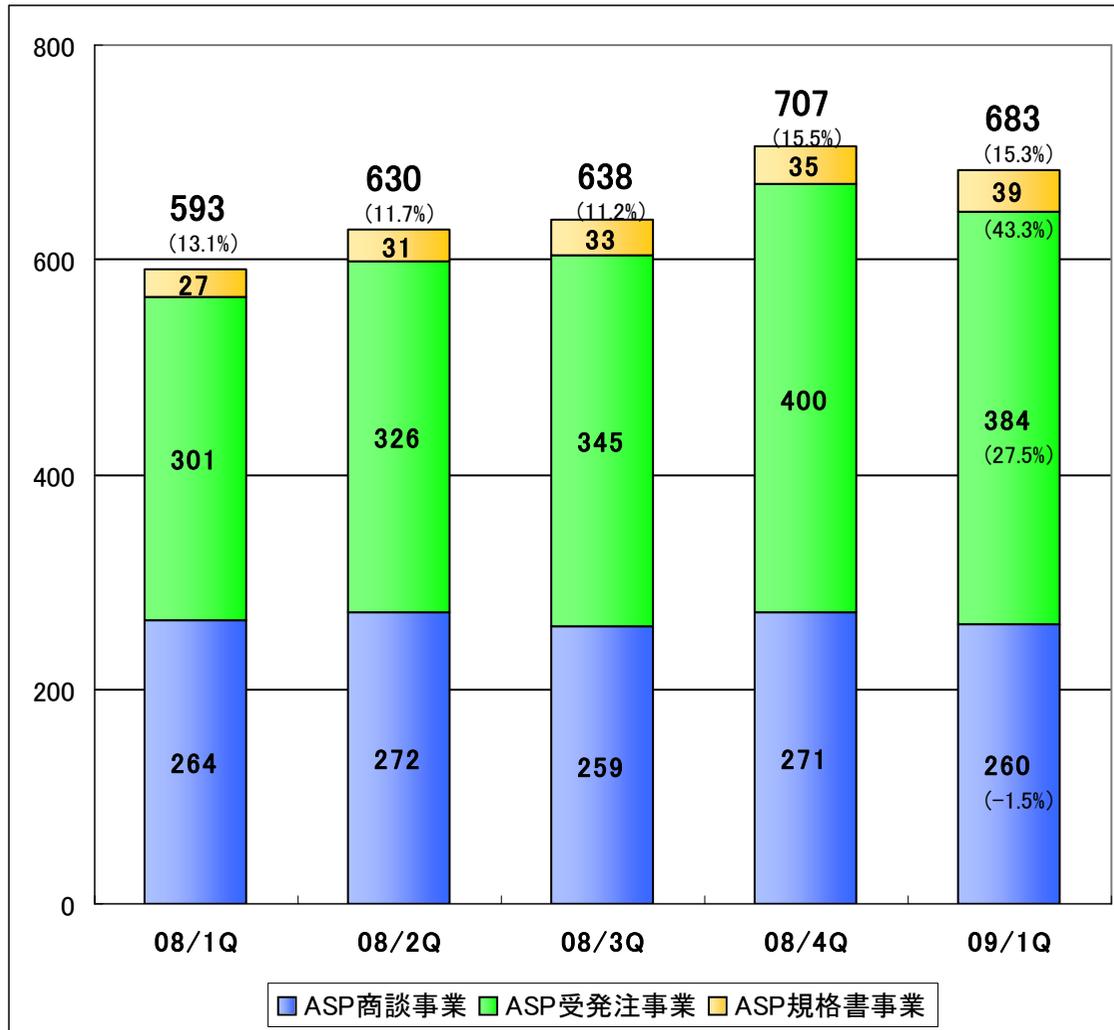
仕様変更通知画面のスクリーンショット。規格書の仕様変更を通知するための機能。

Ⅱ . 2009年12月期 第1四半期決算

[事業の変更]

「EMP事業」、「ASP事業」の2事業体制から、
「ASP商談事業」、「ASP受発注事業」、「ASP規格書事業」の3事業体制へ
(2009年1月より)

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	08/12 1Q	09/12 1Q	増減率	
売上高	ASP商談事業	264	260	-1.5%
	ASP受発注事業	301	384	27.5%
	ASP規格書事業	27	39	43.3%
	合計	593	683	15.3%

〈ASP商談事業〉

・「ASP商談システム」は、顧客の既存取引先をつないでむすぶことに注力し、利用拡大を推進してまいりました。一方、新規利用企業の獲得が第2四半期以降にずれ込んだことから、利用企業数は、純減となりました。

〈ASP受発注事業〉

・「ASP受発注システム」は、多数の企業・店舗の利用実績、低価なシステム利用料に加え、FC(フランチャイズ)機能の提供開始等により、新規獲得が順調に進み、買い手利用店舗数も増加いたしました。

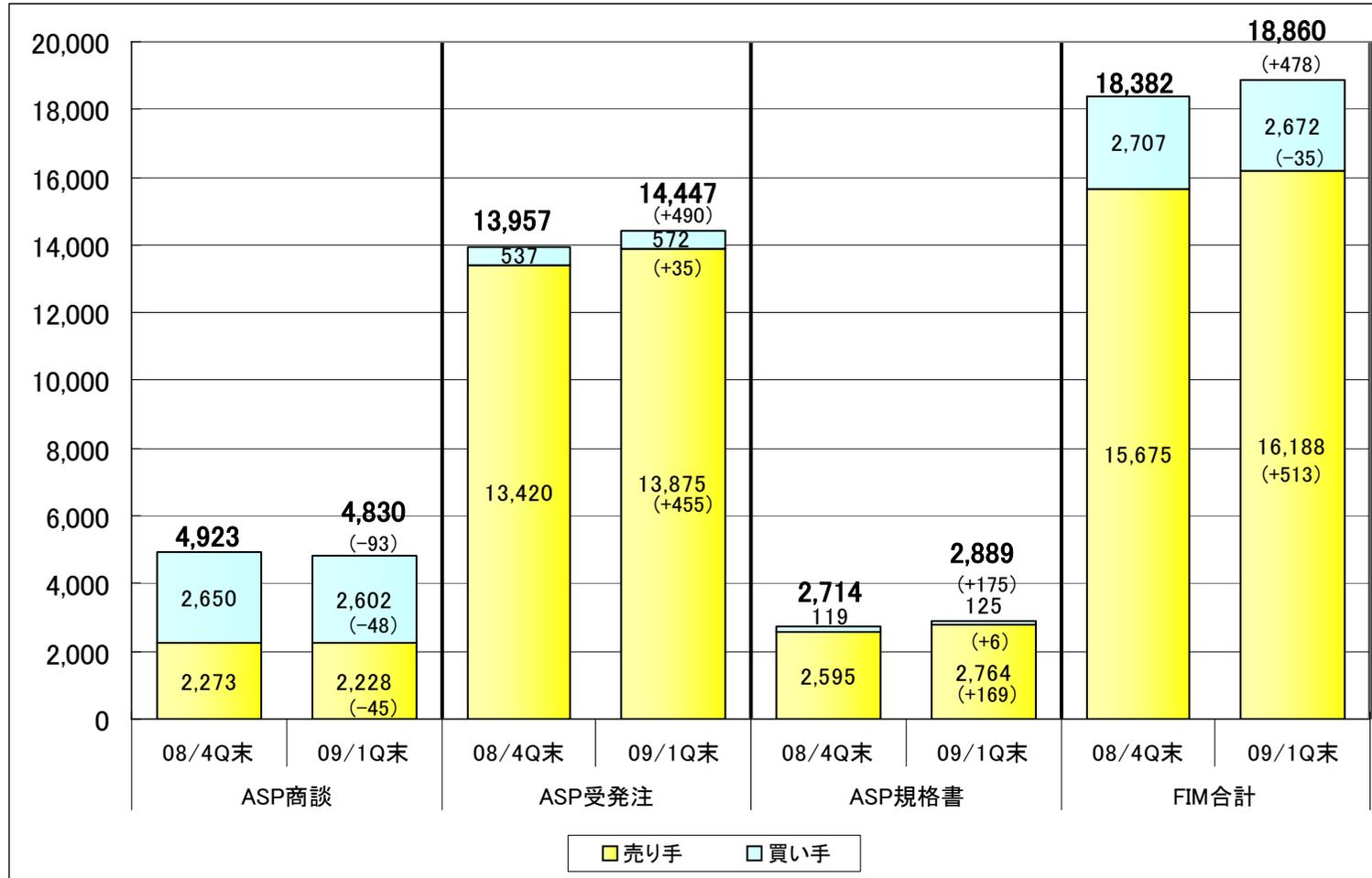
〈ASP規格書事業〉

・「ASP規格書システム」は、フード業界で引き続き強化されている食の安心・安全の仕組みづくりの一環として、必要性が一層高まった商品規格書のデータベースが構築できるシステムであることから、利用拡大が進みました。

※カッコ内%は前年同期比の増減率です。

「FOODS Info Mart」利用企業数、「ASP受発注事業」「ASP規格書事業」のシステム利用拡大で増加

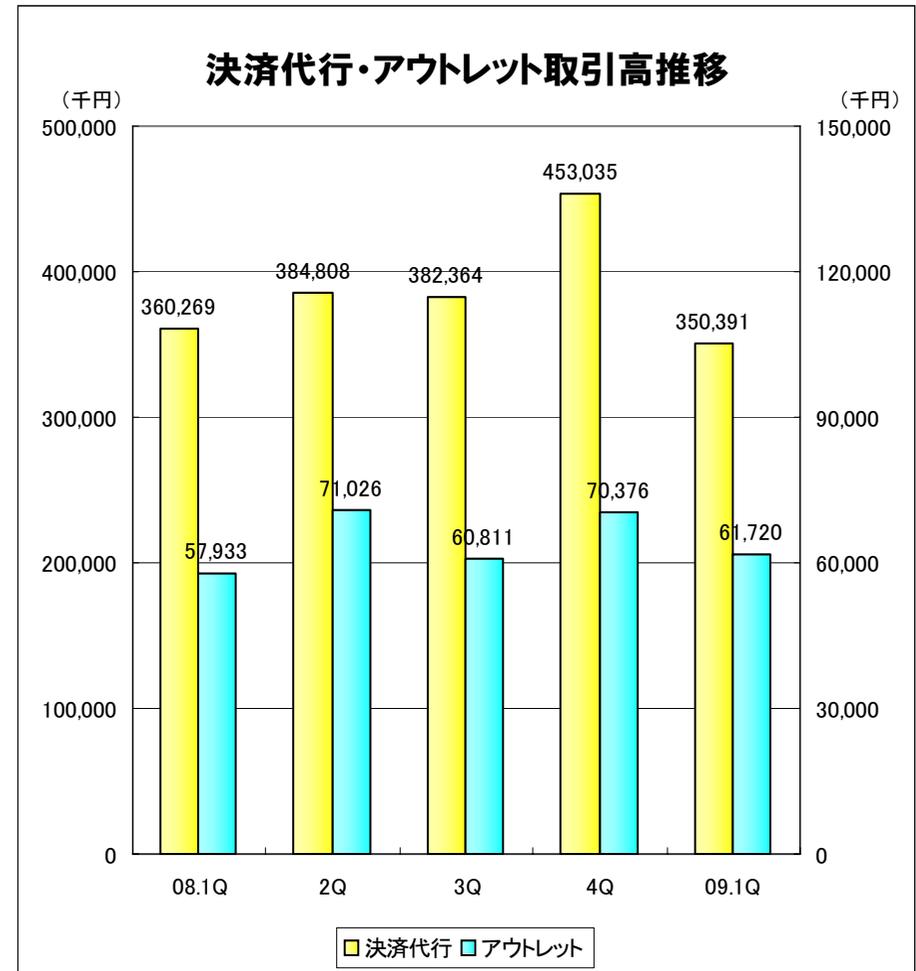
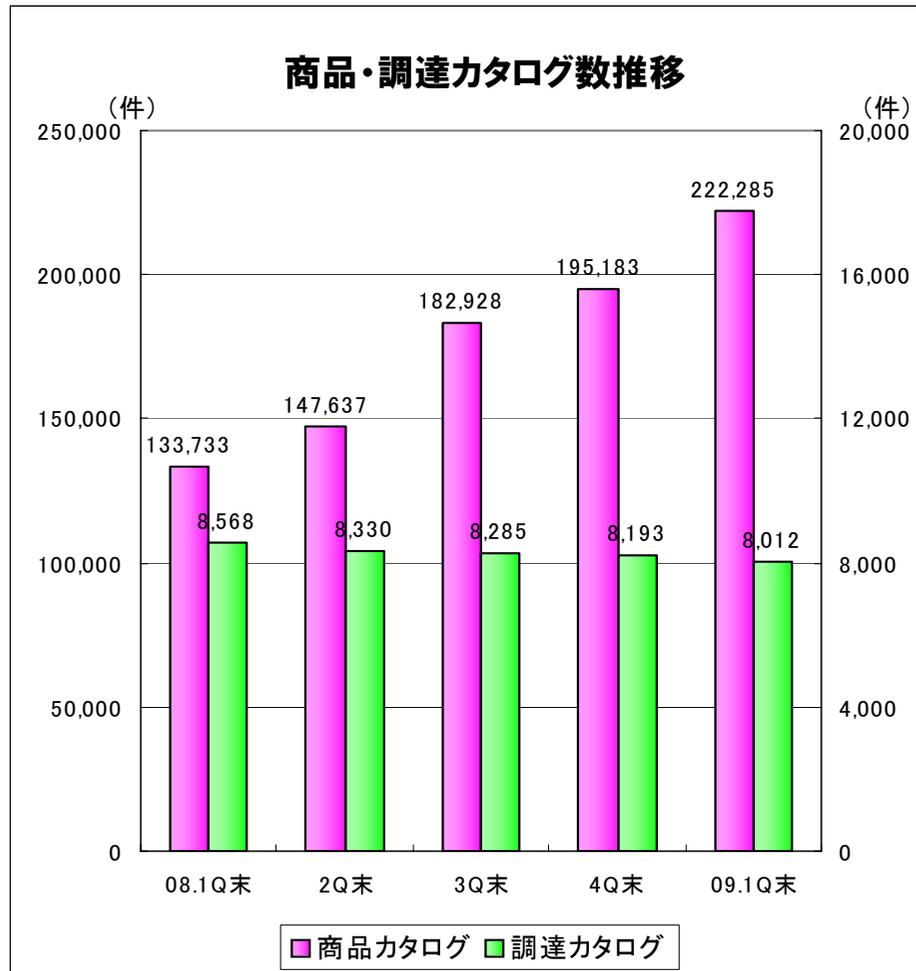
(単位:社)



(注) 1. カッコ内は前四半期末比の増減数です。

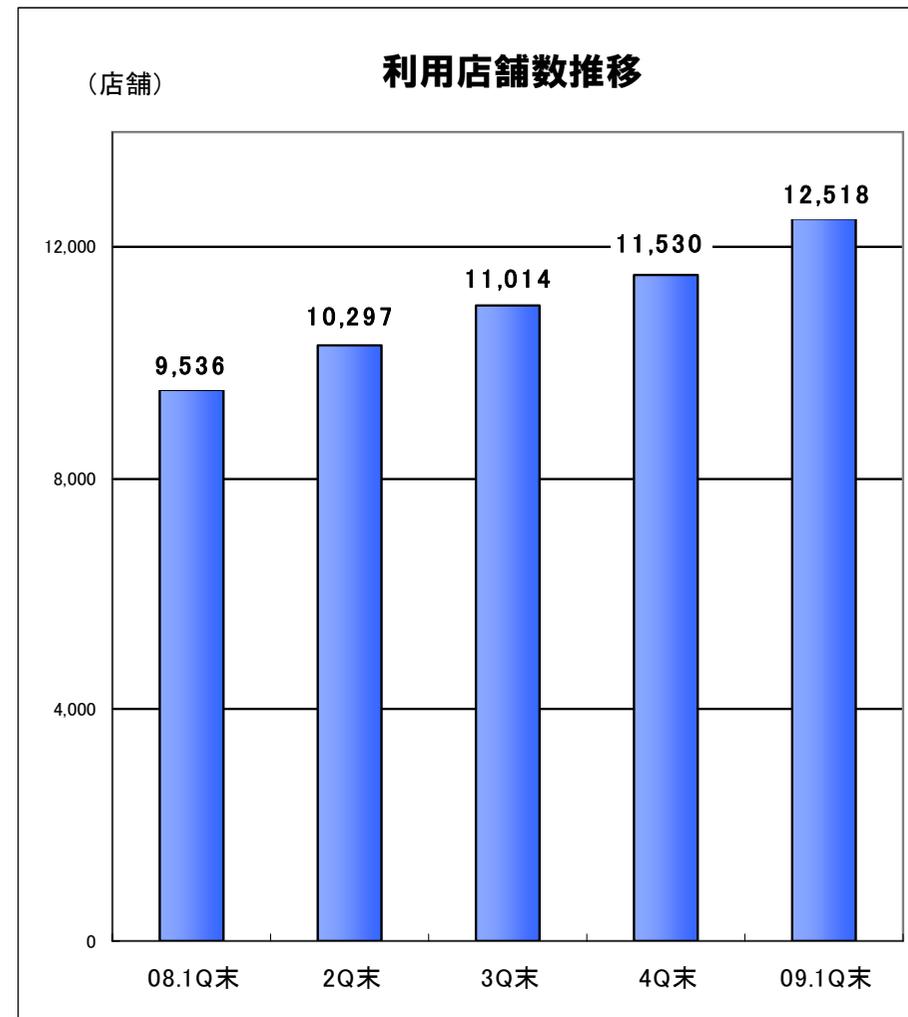
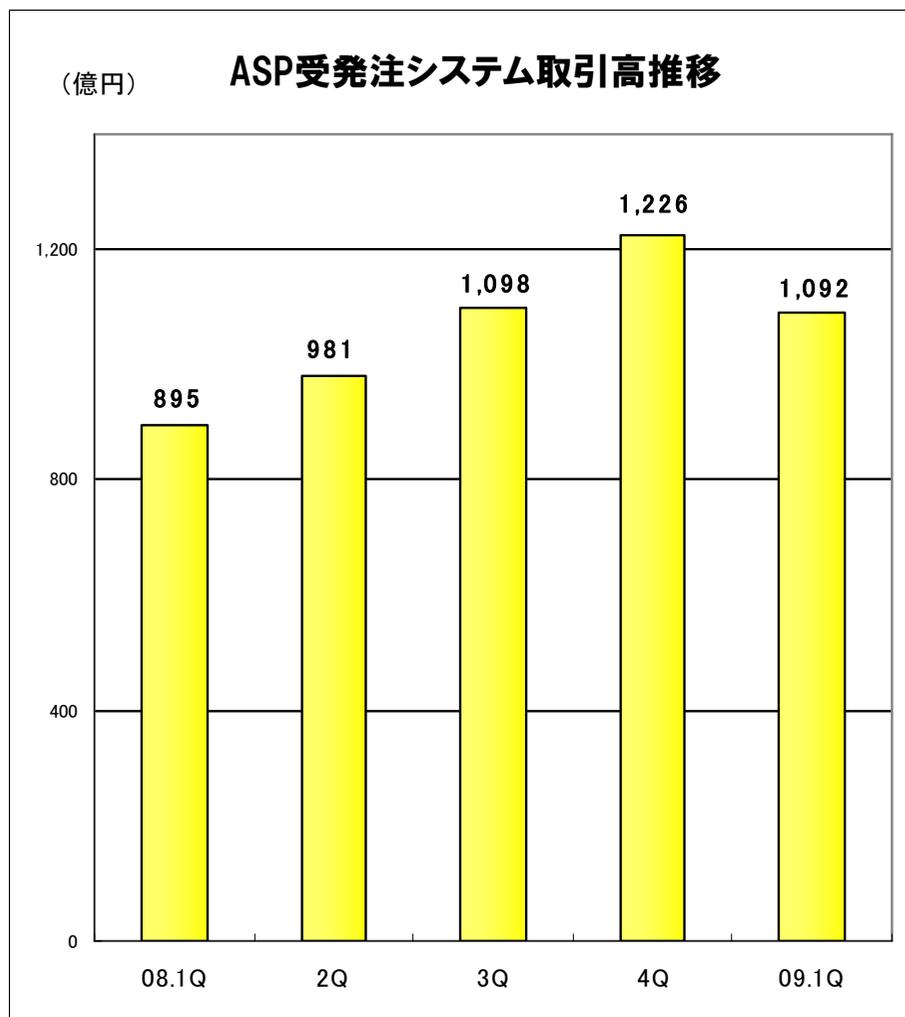
2. 事業部門別の利用企業数は、各事業のシステムを利用する利用企業数の全体数を表示しており、「FOODS Info Mart」合計は、各事業のシステムにて重複する利用企業数を「調整値」として差し引き、正味の全体企業数を表示しております。

ASP商談システムの活用拡大により商品カタログ数が増加
 活用企業が増えた「アウトレットマート」の売上高が増加

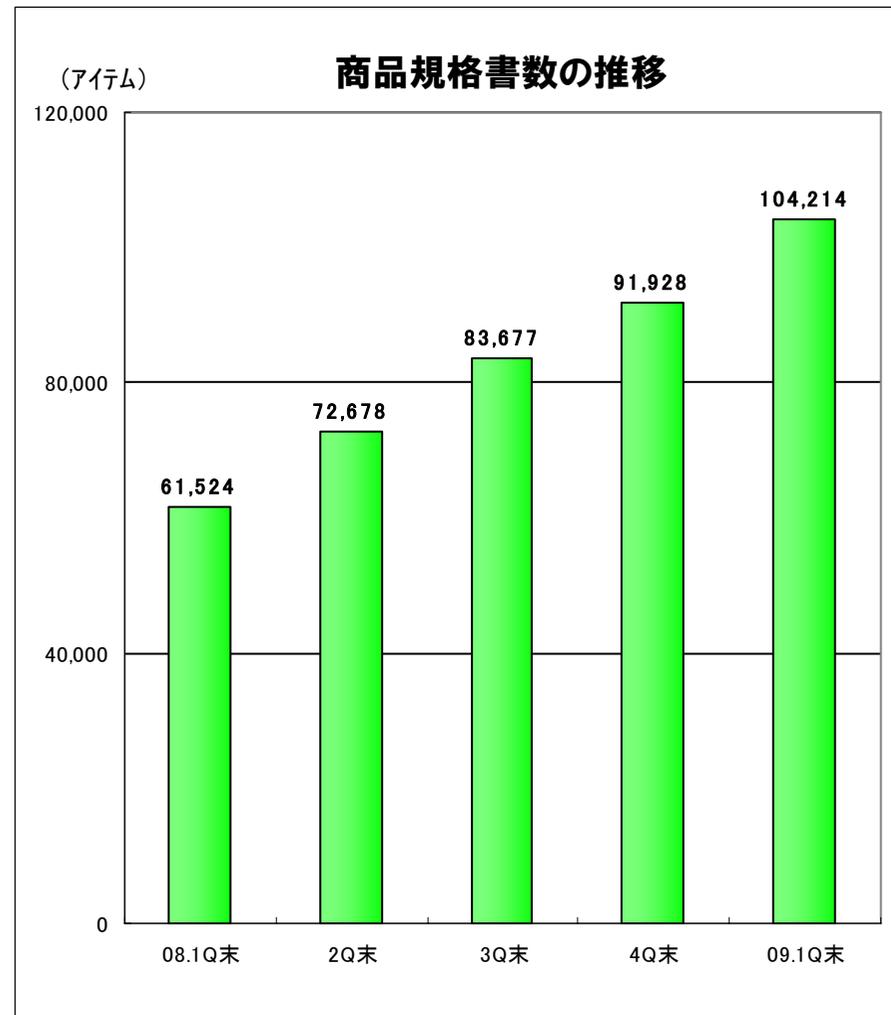
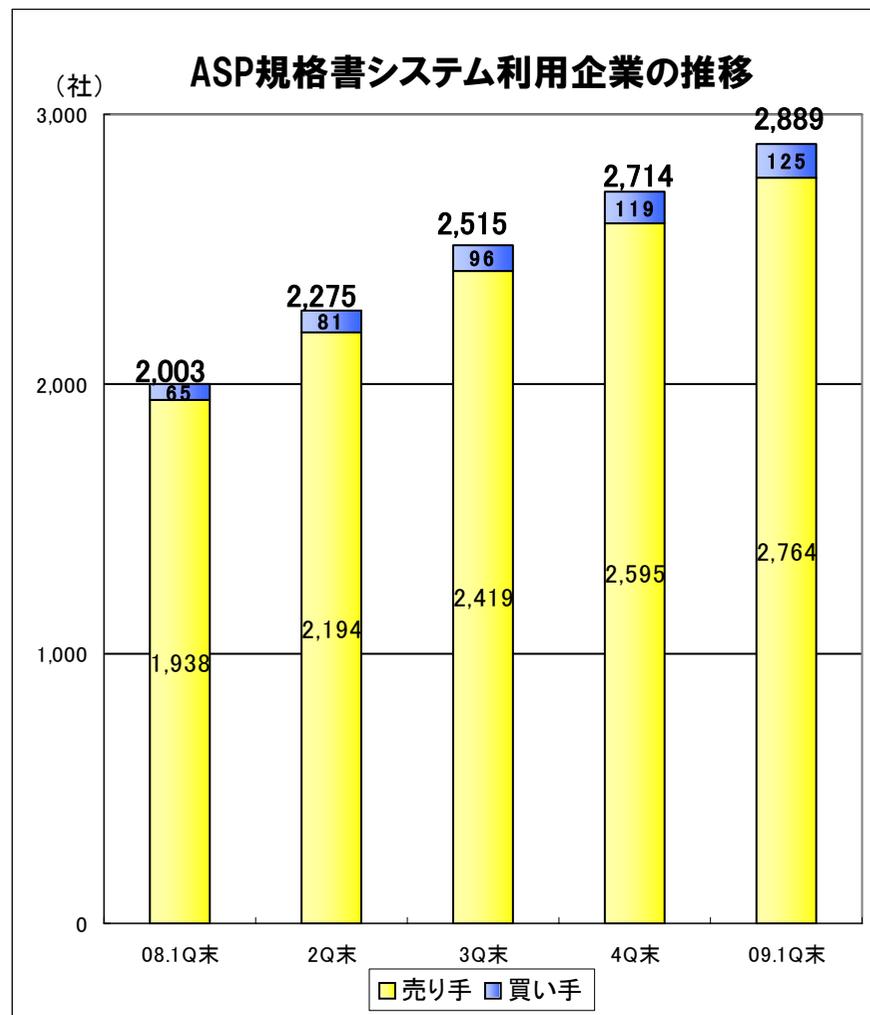


(注) 決済代行の売上高は、上記取扱高の5%であります。

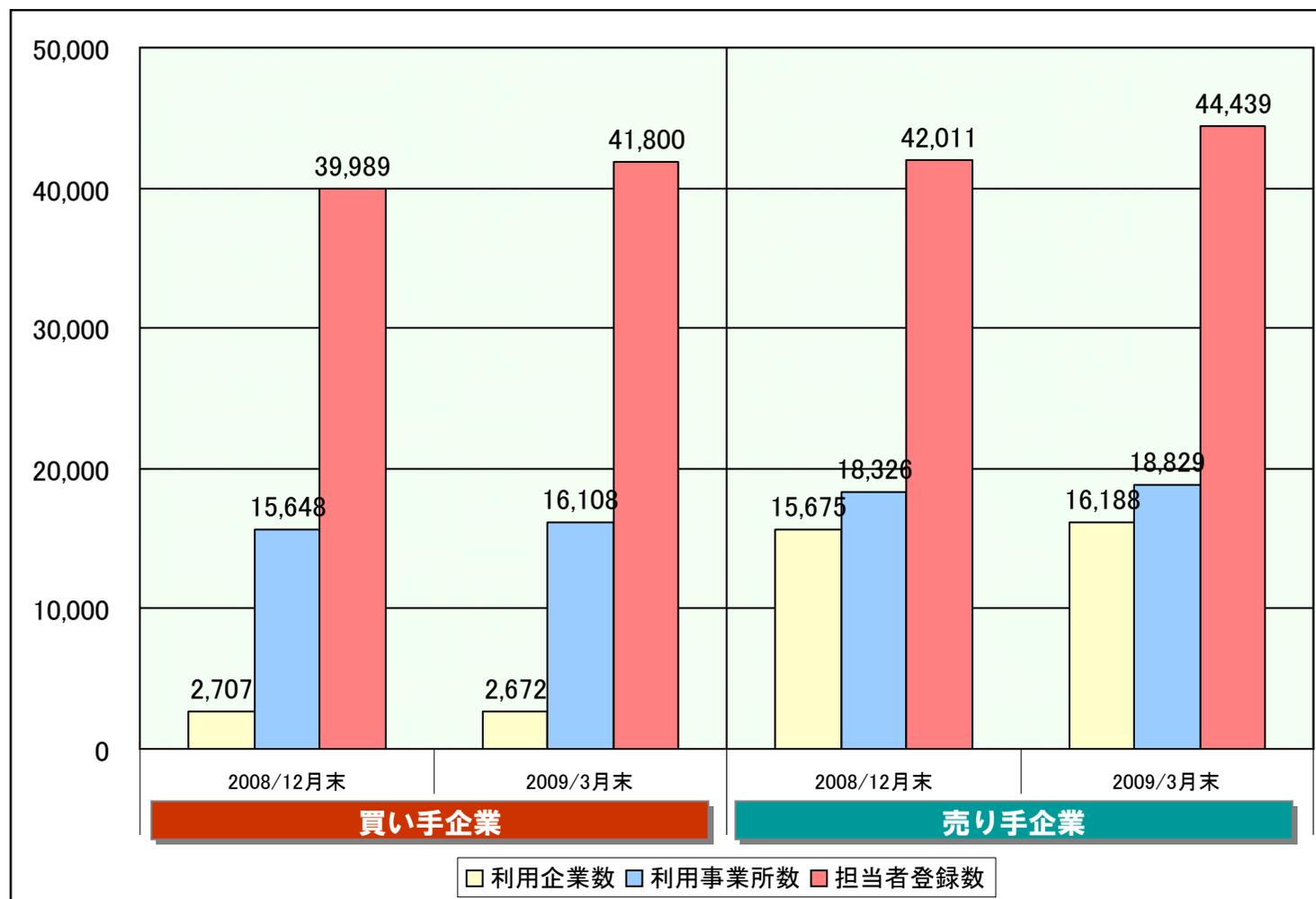
ASP受発注システムの第1四半期システム取引高は、
前年同期比22.0%増の1,092億円となり、順調に拡大



フード業界各社で引き続き強化されている食の安心・安全の仕組みづくりの一環として、
 必要性が一層高まった「商品規格書」のデータベースが構築できるシステムをして利用が拡大

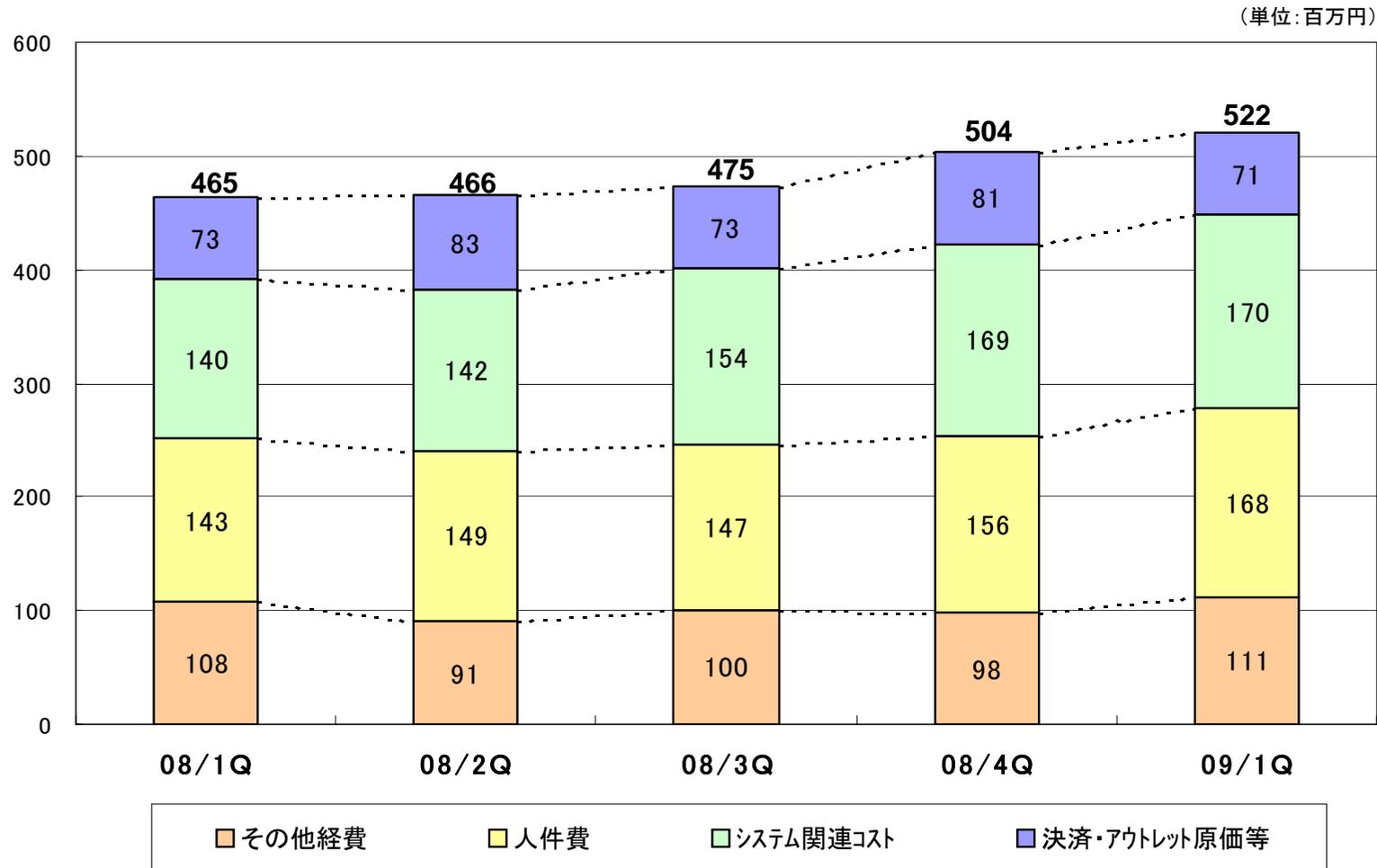


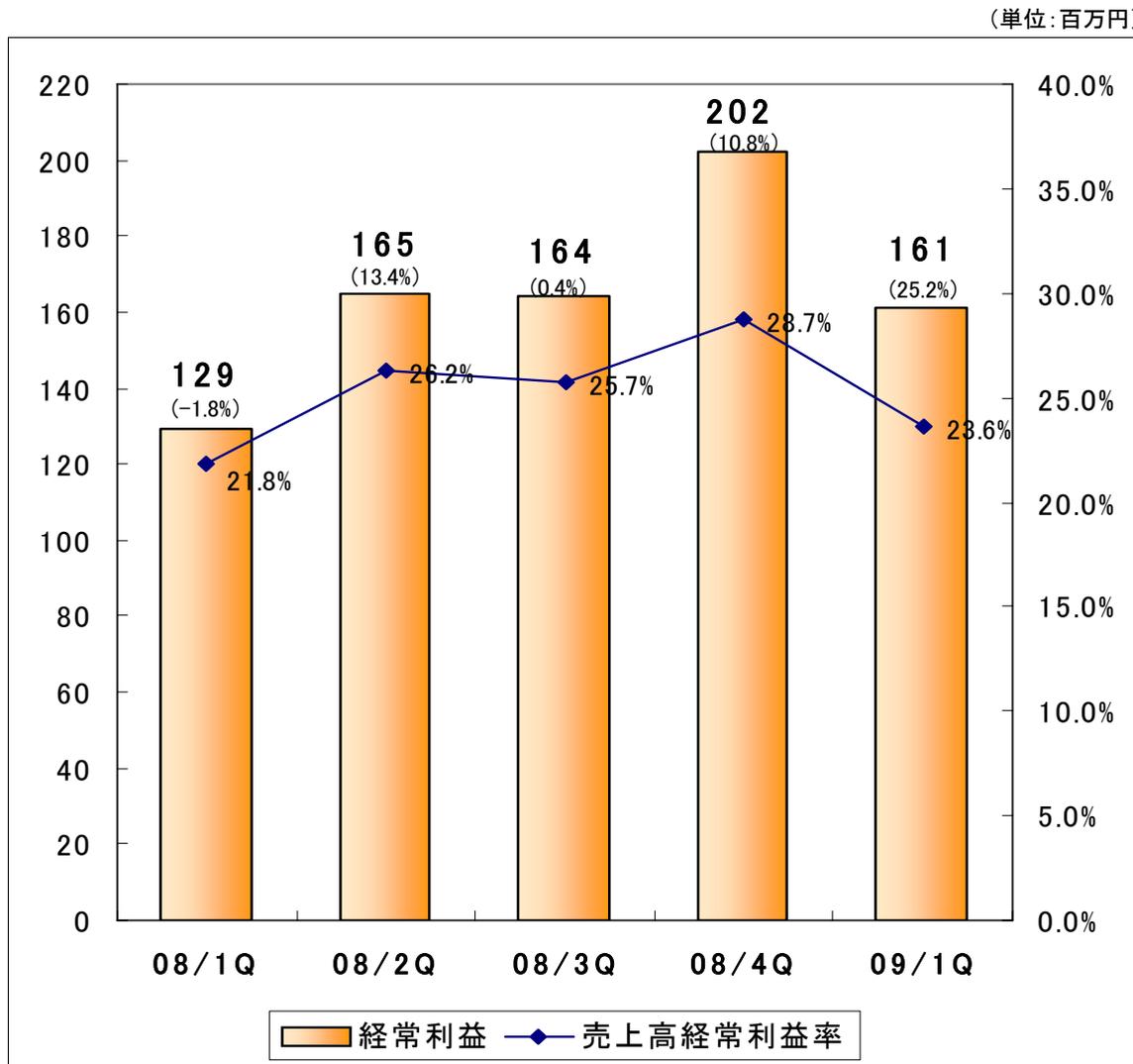
FOODS Info Mart のシステムは、導入企業様の事業部や各部門において、業務改善や生産性向上への取組みに活用いただいております。



2009年3月末現在、合計で18,860社、34,937事業所、86,239人の担当者にご活用頂いております。

営業体制強化のための増員による人件費、利用企業数増加に対応したデータセンター費、
ここ数年における開発強化によるソフトウェア償却費などのコストが増加





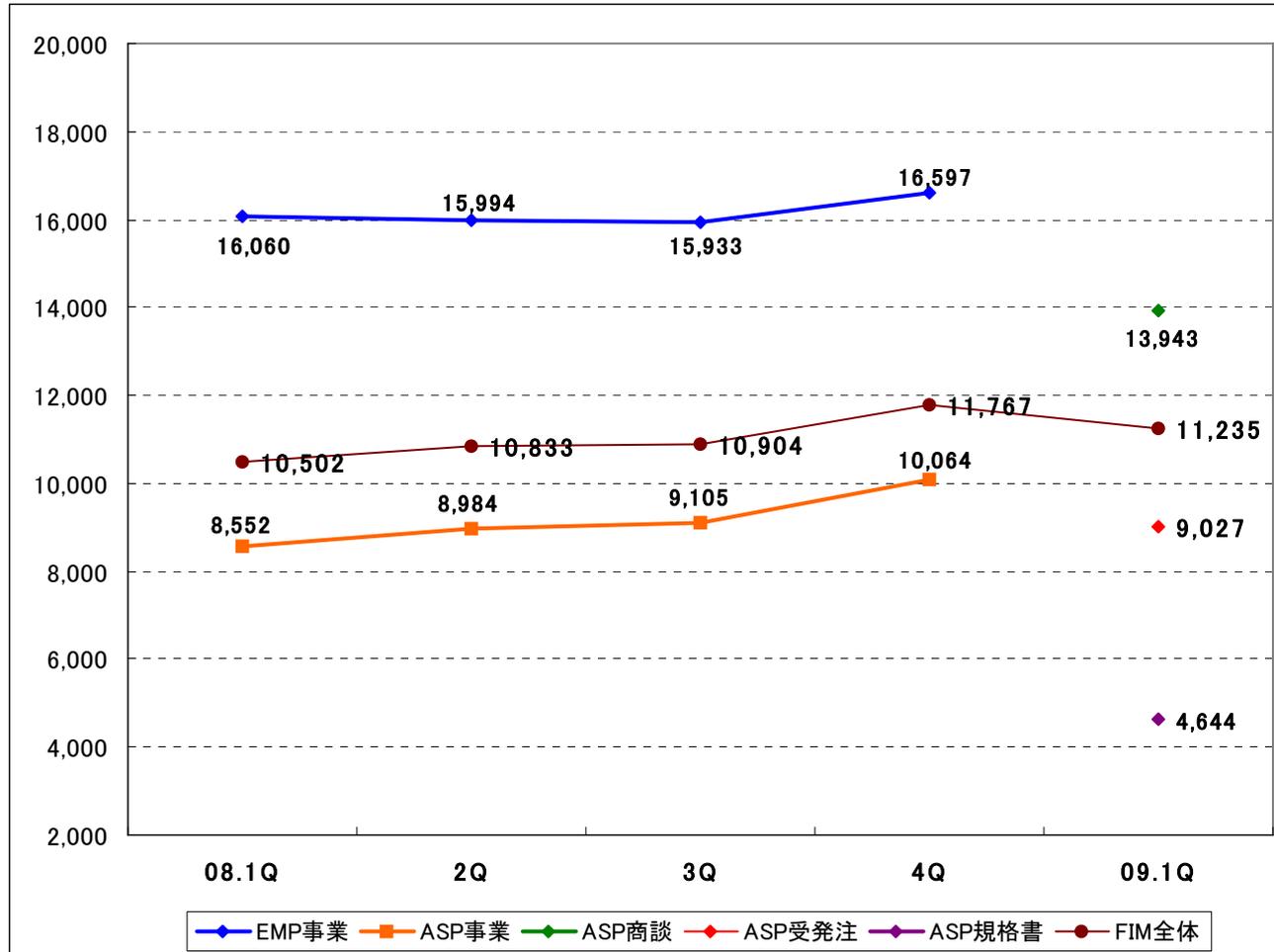
(単位: 百万円)

	08/12 1Q	09/12 1Q	増減率
営業利益	128	161	26.3%
経常利益	129	161	25.2%
当期純利益	74	94	26.2%

第1四半期の経常利益は、「ASP受発注事業」の利用企業数拡大によるシステム使用料収入等の増加が、人件費、データセンター費、ソフトウェア償却費などの販管費のコスト増を吸収し、前年同期比で増加となりました。

※カッコ内%は前年同期比の増減率です。

(単位:円)



(単位:円)

	09/1Q
ASP商談事業	13,943
ASP受発注事業	9,027
ASP規格書事業	4,644
合計	11,235

2009年度より月額顧客単価(ARPU)は、従来の2事業から3事業で表示する方法となりました。

四半期平均売上高(注)
 ÷ 四半期平均利用企業数の全体数
 で計算しております。

尚、FIM全体の計算方法は従来通りです。

FIM全体ARPUの中期目標:

20,000円

(注)ASP商談事業のアウトレット取引は、売上総利益にて計算しております。



Ⅲ. 2009年度12月期の計画

[重点施策]

- **3システムが整った「FOODS Info Mart」の本格的な成長期の開始**
 - 「ASP商談システム」・・・ 既存取引先をつないでむすぶことに注力
 - 「ASP受発注システム」・・・ FC機能、ホテル・旅館機能であらゆる業態に対応
 - 「ASP規格書システム」・・・ システムバージョンアップによる業界標準化への加速
- **「FOODS Info Mart」の海外展開の開始**
2009年5月を目処に海外子会社「Infomart International」を香港に設立(詳細は後述)

[事業テーマ]

- **「日常業務」「業界標準化」**
企業間で行われる日常業務での「FOODS Info Mart」の活用を推進し、業界標準化を目指す

[事業の変更]

- **「EMP事業」「ASP事業」の2事業体制から、
「ASP商談事業」「ASP受発注事業」「ASP規格書事業」の3事業体制へ**
(2009年1月より)

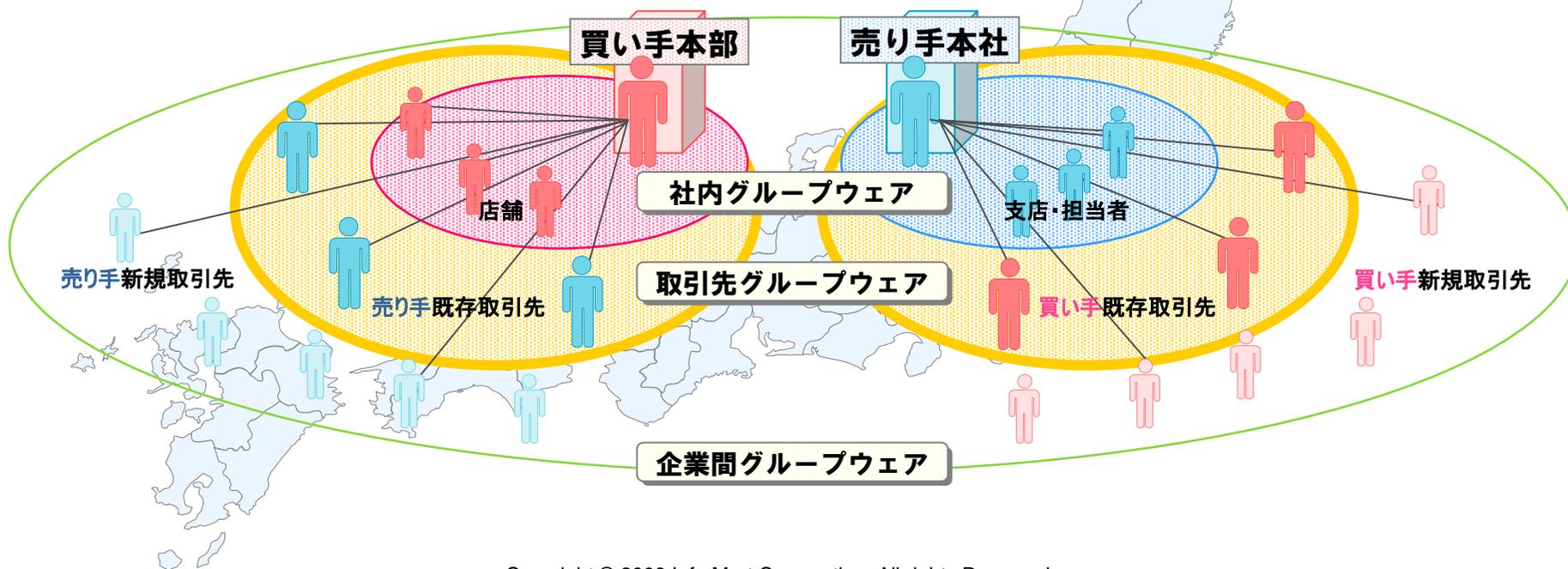
既存取引先も新規取引先も「つないで」「むすぶ」に注力します。

[営業体制の変更]

弊社営業力及びサポート力を強化すべく、エリア制の営業部へ変更いたしました。

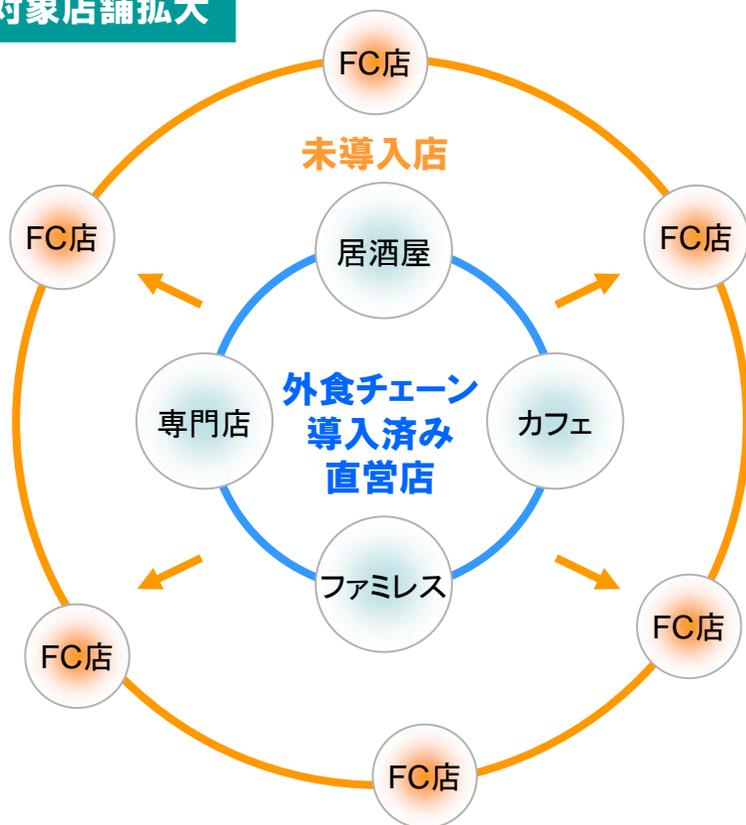
[導入促進の変更]

新規取引先との活用強化から、社内→既存取引先→新規取引先の順で活用強化していきます。

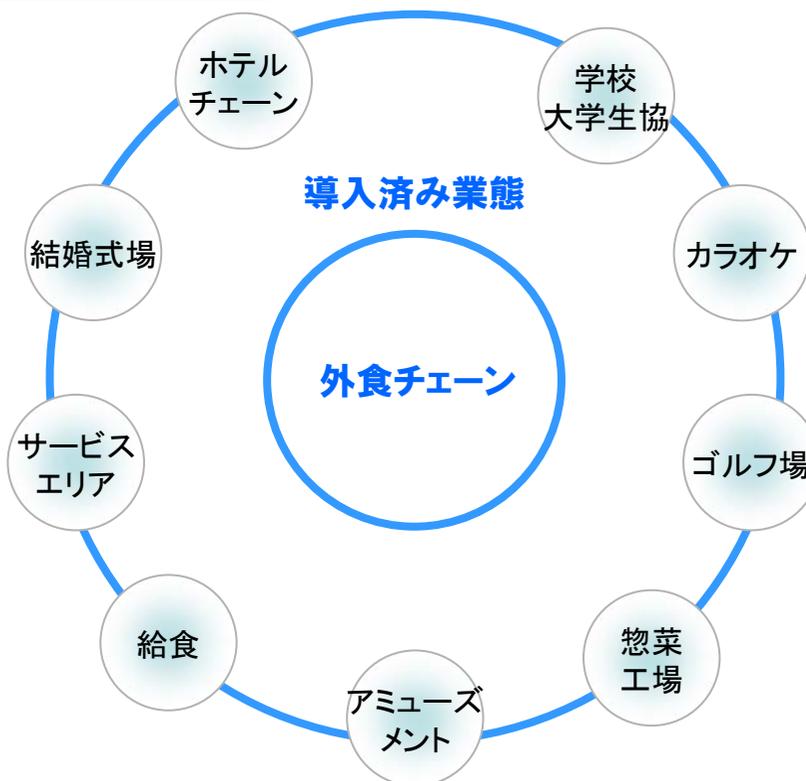


FC向けの機能も開始、導入店舗・業態の拡大を図ります。

導入対象店舗拡大



導入業態ごとの拡大

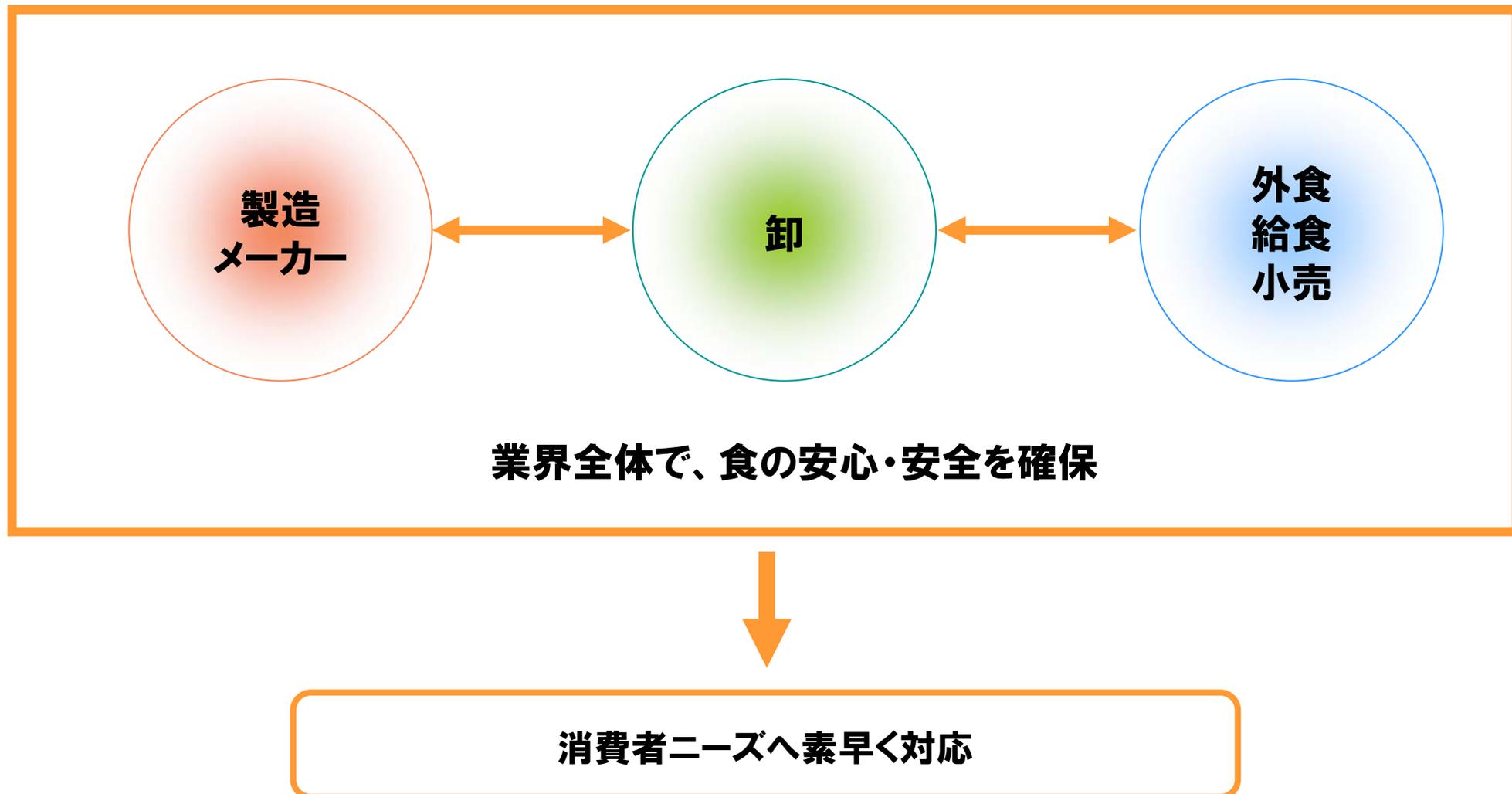


「ASP受発注システム」の中期目標:「2+8=10目標」

～目標買い手店舗数:2万店舗 + 目標年間受発注取引高:8,000億円(外食産業全体の10%シェア)～

(注)2007年外食産業市場規模、24兆7,009億円(外食産業総合調査研究センター データより)から仕入金額を30%の前提で計算すると7兆4,103億円となり、当社2008年度取引高4,200億円は5.7%にあたります。(当社計算による)

システムバージョンアップにより、業界標準化に向け加速します。



◆第2四半期累計期間業績予想

(単位:百万円)

		2008/12期 2Q累計(実績)	2009/12期 2Q累計(予想)	増減率
売上高	ASP商談(前EMP)	536	560	4.4%
	ASP受発注(前ASP)	628	781	24.4%
	ASP規格書(前ASP)	58	85	45.5%
	合計	1,223	1,427	16.6%
営業利益		292	269	-7.7%
経常利益		294	269	-8.6%
当期純利益		171	156	-8.9%

〈第2四半期累計期間予想〉

・「ASP商談システム」「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」の3システムの利用拡大を見込むことから、システム使用料収入が増加いたします。

・5月より連結子会社となる予定の「インフォマートインターナショナル」の設立等に係るコストを海外展開準備費用として織込むことから、各利益は、一時的に減少いたします。

◆通期業績予想

(単位:百万円)

		2008/12期 通期(実績)	2009/12期 通期(予想)	増減率
売上高	ASP商談(前EMP)	1,068	1,218	14.1%
	ASP受発注(前ASP)	1,373	1,649	20.0%
	ASP規格書(前ASP)	127	199	56.9%
	合計	2,569	3,067	19.4%
営業利益		658	721	9.5%
経常利益		661	720	8.8%
当期純利益		387	417	7.7%

〈通期予想〉

・継続的な3システムの利用拡大により、「FOODS Info Mart」全体の利用企業数が2万社に到達する見込みから、システム使用料収入が増加いたします。
その結果、海外展開準備費用等のコストを吸収し、通期では増収増益となる見通しです。

◆FOODS Info Mart 利用企業数予想

(単位:社)

	2008/12期末 (実績)	2009/12期末 (予想)	増加数
売り手企業数	15,675	17,100	1,425
買い手企業数	2,707	2,900	193
FIM全体利用企業数	18,382	20,000	1,618

増収増益予想、基本配当性向50%の継続により増配

■ 1株当たり配当金予想

(単位:円)

	2008／12期 実績	2009／12期 予想	前期比
中間配当	2,840	3,000	+160
期末配当	2,840	3,000	+160
年間合計	5,680	6,000	+320
1株当たり当期純利益	10,716.54	12,000.00	+12.0%

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、経営成績の向上及び財務体質の強化を図りつつ、業績に応じた成果の配分(基本配当性向50.0%)を継続的に行うことを配当政策の基本方針としております。



IV. Infomart International設立

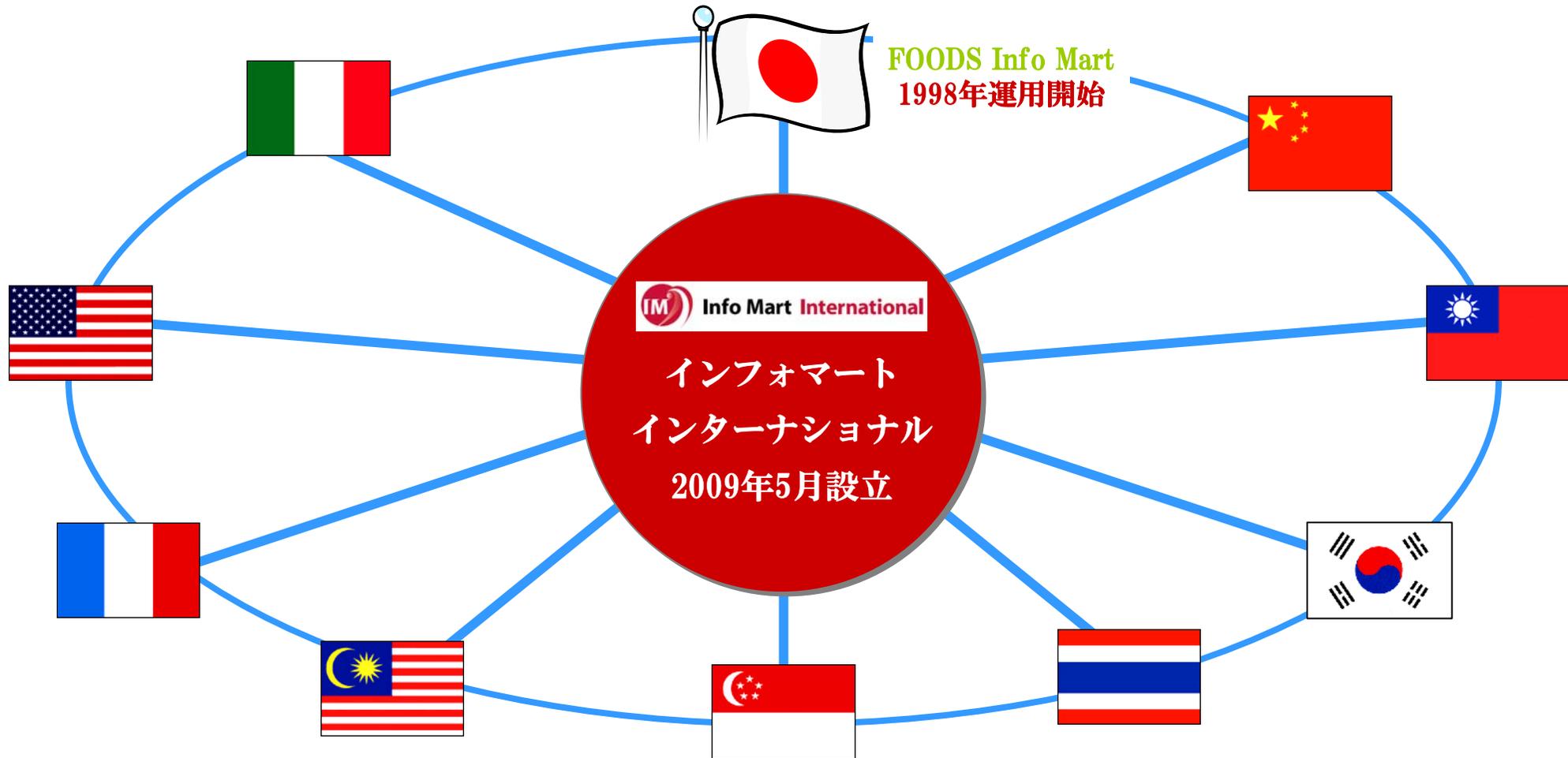
FOODS Info Mart のシステムライセンス販売により、 海外事業展開を行います。

システムライセンス販売の内容

1. 受発注システムによる 受発注業務インフラ整備
2. 商談システムによる 商談業務インフラの整備
3. 規格書システムによる 食の安心安全業務インフラ整備

日本発フード業界ASPシステム

～フード業界の業務改善となる業界共通システムの提供と、各国の情報発信・輸出入へ～



(1)	商号	株式会社インフォマートインターナショナル (英語表記: Infomart International Ltd.)
(2)	代表者	董事長 米多比 昌治 (当社専務取締役)
(3)	所在地	Level28, THREE PACIFIC PLACE, 1 QUEEN' S ROAD EAST, HONG KONG
(4)	設立	2009年5月 (予定)
(5)	決算期	12月
(6)	資本金	2,400万香港ドル(約3億円) (予定)
(7)	主な事業の内容	海外におけるフード業界企業間電子商取引プラットフォーム 「フーズインフォマート (FOODS Info Mart)」のライセンス販売
(8)	役職員数	6名 (予定)
(9)	株主構成および所有割合	株式会社インフォマート 66.7% 三井ベンチャーズ 33.3%

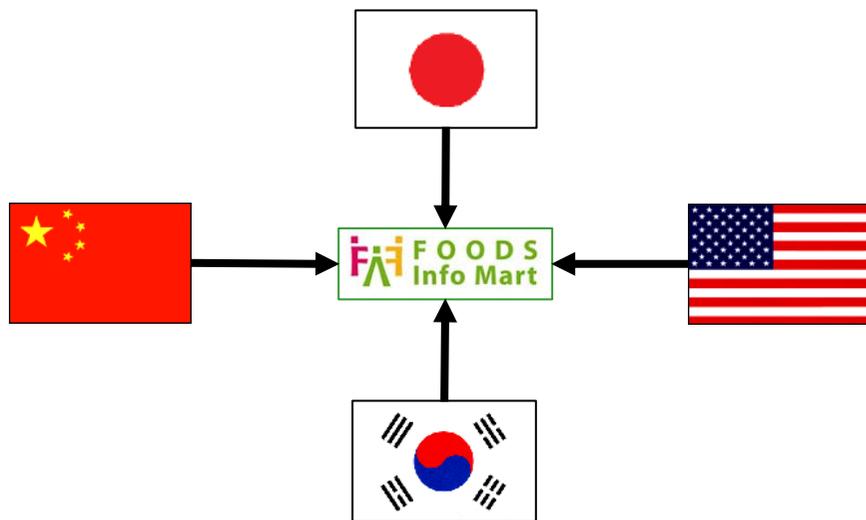
フェーズ1

各国での FOODS Info Mart 運用開始、業界共通システムの普及。



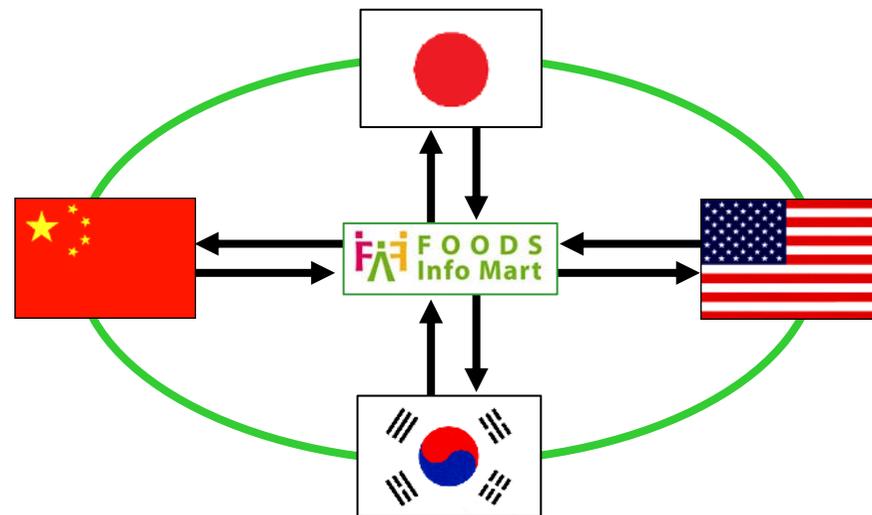
フェーズ2

各国の FOODS Info Mart から食の情報を発信。



フェーズ3

各国の FOODS Info Mart がつながり、輸出入を開始。



V. 補足資料

～ 日本中の食と食、企業と企業を結びつけ フード業界の発展に貢献 ～

企業間電子商取引(BtoB)プラットフォームでお客様同士、お客様と共に Win to Win collaboration を創出する

【会社概要】

(2009年3月末現在)

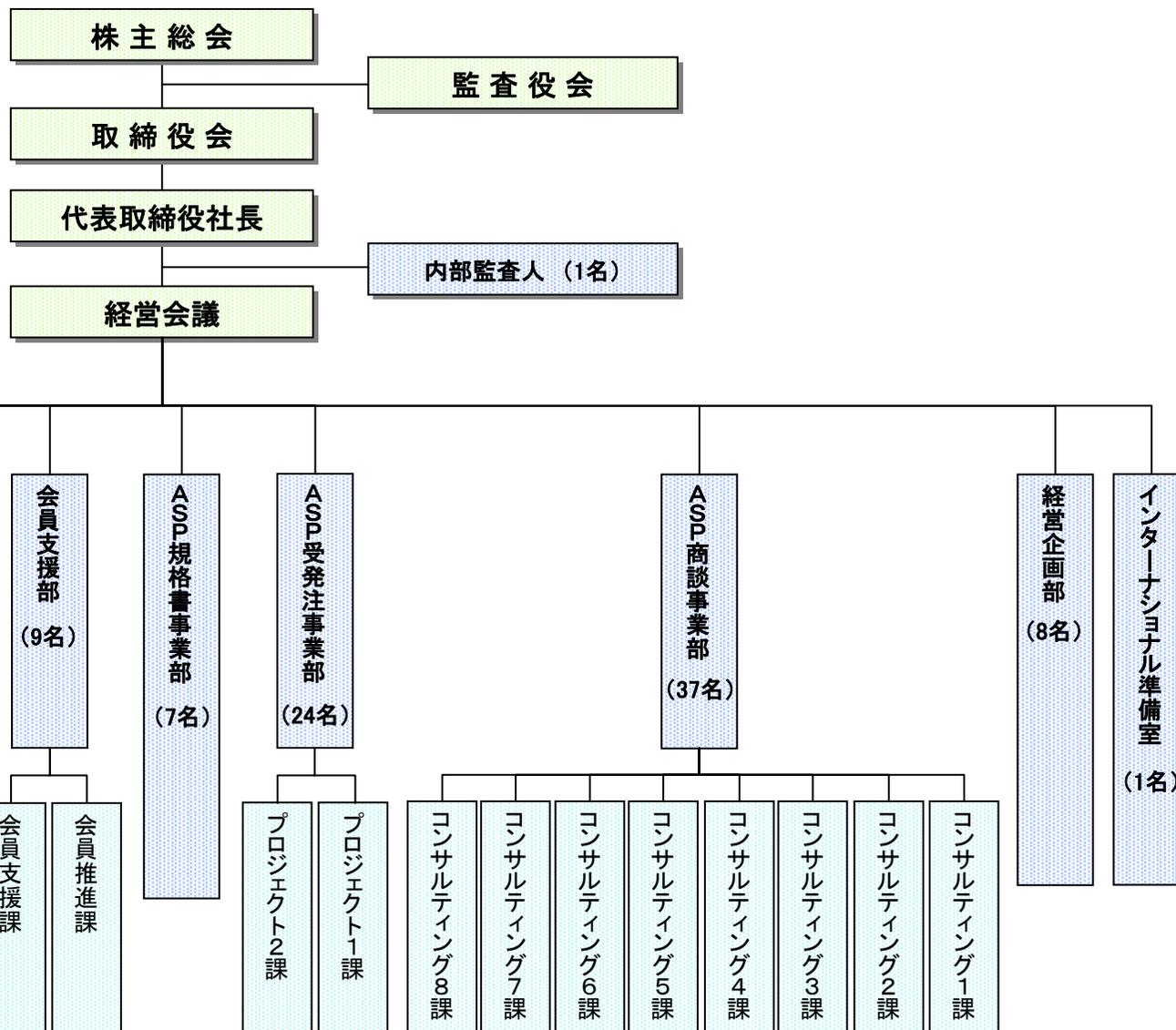
商号	株式会社インフォマート (Infomart Corporation)
代表取締役	村上 勝照
事業内容	フード業界企業間電子商取引プラットフォーム 「フーズインフォマート(FOODS Info Mart)」の運営
本社所在地	東京都港区浜松町1-27-16 浜松町DSビル
設立	1998年2月13日
営業所	福岡カスタマーセンター
資本金	10億120万円
従業員数	178名(正社員143／派遣35)
主要取引銀行	(株)三菱東京UFJ銀行(浜松町支店) (株)みずほ銀行(赤坂支店)
共同事業先	(社)日本フードサービス協会、(社)日本セルフ・サービス協会

【沿革】

1998年 2月	会社設立
1998年 6月	「食品食材市場」のサービス開始
2000年 6月	社団法人日本フードサービス協会と外食産業向 JF FOODS Info Mart事業の共同事業開始
2000年11月	「決済代行システム」のサービス開始
2001年 6月	「アウトレットマート」のサービス開始
2001年 7月	社団法人日本セルフ・サービス協会と小売業界向 JSSA FOODS Info Mart事業の共同事業開始
2003年 2月	「ASP受発注システム」のサービス開始
2005年 4月	「FOODS信頼ネット」のサービス開始
2005年 4月	「WEB購買支援システム」のサービス開始
2006年 1月	「食材甲子園」のプロジェクト開始
2006年 8月	東京証券取引所マザーズ市場へ上場
2006年 9月	「外食応援団」のサービス開始
2006年 9月	「ASP受発注システム アライアンスパートナー制度」の開始
2007年 6月	「WEB販売支援システム」のサービス開始
2007年 7月	「ASP商談システム」のサービス開始
2008年 3月	「FOODS信頼ネット」を「ASP規格書システム」に名称変更
2008年 4月	新「ASP商談システム」のサービス開始

2009年3月末現在

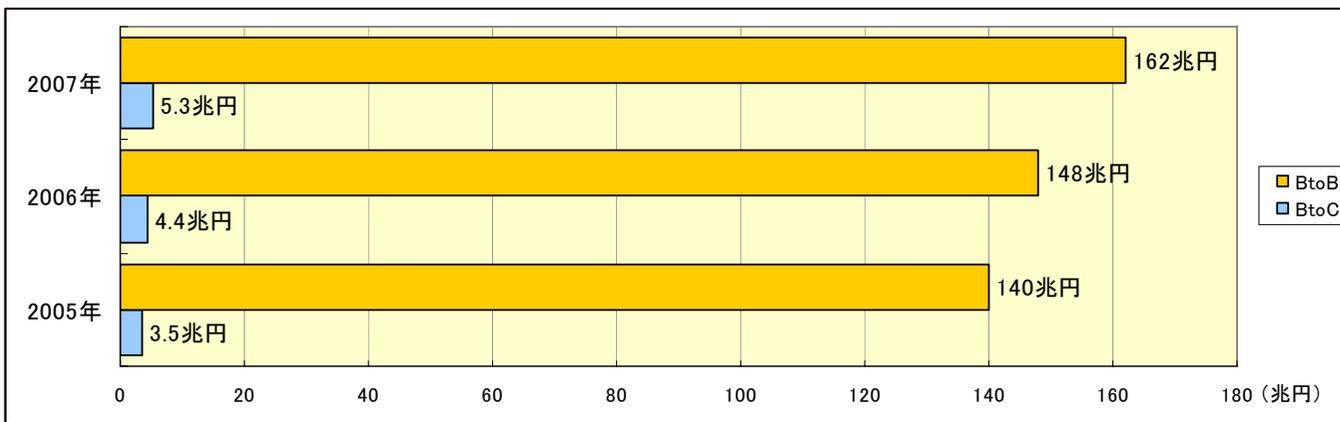
合計178名(正社員143名／派遣35名)



■ 市場規模の違い 株式会社インフォマートの事業は BtoB ビジネスです

BtoB と BtoC の市場規模

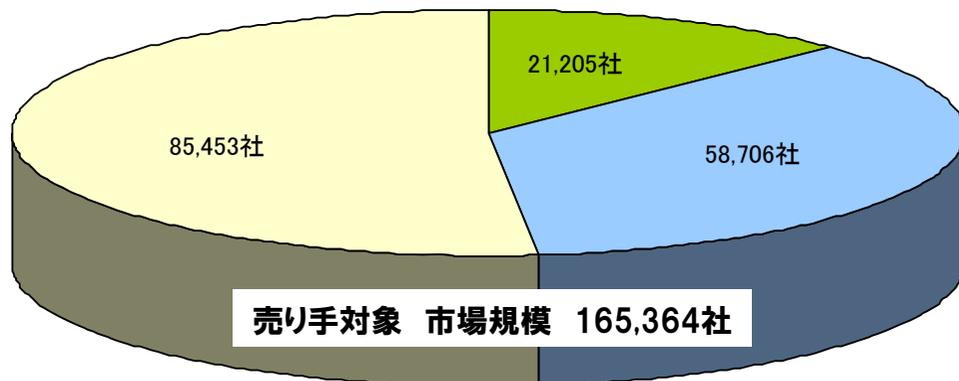
※参考 経済産業省 「平成19年度我が国のIT活用に関する調査研究」より



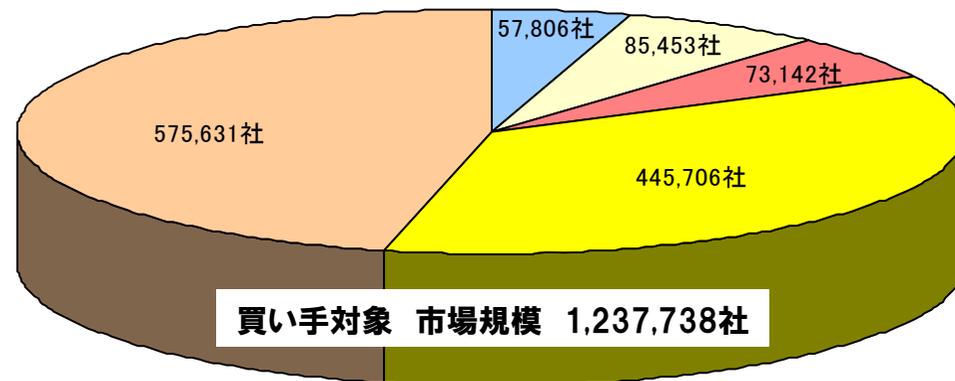
BtoB市場はBtoC市場の約31倍の市場規模です

■ 市場規模 サービスの利用対象企業は140万社です

■ 農・畜・漁業 ■ 製造業 ■ 卸売業



■ 製造業 ■ 卸売業 ■ 旅館・ホテル・レジャー ■ 小売業 ■ 外食



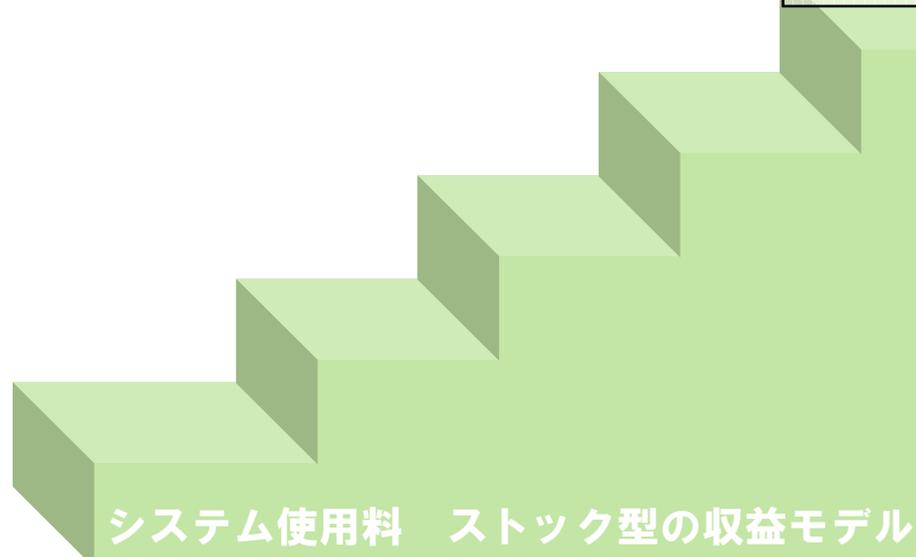
1.ASP商談システム	1. システム使用料 ・買い手企業 5,000円/月 ・売り手企業 25,000円/月
	2. アウトレット売上(商品売買による)

2.ASP受発注システム	1. システム使用料 ・買い手企業 本部：18,000円/月、店舗：1,300円/月 ・売り手企業 定額制もしくは従量制を選択 定額制 28,000円/月、1ID追加：800円/月 従量制 月額取引金額の1.1% (月額取引10万円未満の場合無料)
	2. 初期費用(買い手のみ) 300,000円~1,000,000円

オプション機能	決済代行システム
---------	----------

3.ASP規格書システム	1. システム使用料 ・買い手企業 30,000円/月、・売り手企業 5,000円/月
	2. 初期費用(買い手のみ) 200,000円~1,000,000円

オプション機能	1. ASP売上日報システム
	2. 新決済システム
	3. アップロード機能



システム使用料の売上比率
(2009/12期 第1四半期 実績)

◆売上全体の85%
 ASP商談事業：69%
 ASP受発注事業：96%
 ASP規格書事業：94%

※上記金額は税抜です。

最後に・・・

本日は、誠にありがとうございました。

フード業界に特化した

企業間電子商取引(BtoB)プラットフォームで

業界標準化を目指します。

株式会社インフォーマット

代表取締役社長 村上 勝照

当資料に記載された内容は、2009年4月30日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により予告なしに変更される可能性があります。

投資に際しての最終的な判断は、お客様自身がなされるよう、お願いいたします。

本資料は株式会社インフォマートによって作成されたものです。